




- (1) ねらい 織田信長が行った政策や戦いに着目し、20年間で勢力を拡大できた理由を考える活動を通して、楽市・楽座によって領地の経済を発展させたことと鉄砲隊を使った新しい戦法を基に敵を圧倒したことに気づき、それらを自分の言葉でGoogleスライドにまとめることができる。
- (2) 評価規準 織田信長が行った天下統一に向けて行った政策等を、資料を活用し、経済面と戦略面からGoogleスライドにまとめている。
- (3) 学習展開 (4/6)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導 入	1 織田信長の勢力拡大の変容を示した地図を見る。 ・初めは尾張の一部しか治めていなかった武将が、堺や京都などの重要な場所まで自分の領地に行っている。 ・20年間で、こんなに勢力を拡大できるなんてすごい。いったいどうしたんだろう。	【ICT活用の工夫】 ・織田信長の勢力拡大の様子を年数ごとに示すことで、児童の疑問を引き出し、課題を設定する。
	2 課題を設定する。 なぜ、織田信長は20年で勢力を伸ばせたのだろう。	
展 開	3 予想を基に個人追究を行う。 ・前に学習したけど、新しい戦い方をしたからだと思う。 ・経済を発展させる取り組みをしたと思う。	【ICT活用の工夫】 ・資料をデジタルで配付することで資料に書き込んだり、拡大したりして追究できるようにする。
	4 全体で交流する。 ・織田信長はこれまで行われていた戦術を変え、鉄砲を使って戦を行った。これまで騎馬隊を使った戦術で力を示していた武田氏が長野市の戦いで打ち破ることができた。 ・楽市・楽座を行ったことで、商人が税を負担することなく商売できるようにした。このことで、町がにぎわい、経済が発展した。 ・楽市・楽座を行ったことで商人を味方につけ、最先端の鉄砲を大量に、いち早く手に入れることができたから、多くの戦いに勝利することができた。	
終 末	5 既習の資料(児童が作成した平清盛のスライド)と本時の学習の共通点と相違点を考える。 ・どちらも軍事力を高めて力のある敵を倒していることが同じだ。 ・どちらも経済を発展させる取り組みをしていたことが同じだ。 ・清盛は娘を天皇の后にして力を付けていたこと、信長は鉄砲を使用した戦術を取り入れて戦っていたことが違うね。	【ICT活用の工夫】 ・織田信長が行った天下統一に向けて行った政策等を、資料に位置付け、経済面と戦略面からGoogleスライドにまとめられるようにする。
	6 本時のまとめを行う。 織田信長は、楽市・楽座を行うことで経済を発展させ、鉄砲隊を使った新しい戦術で敵を圧倒したことで、20年間で勢力を伸ばすことができた。	
	7 学習した内容を専用のスライドにまとめる。	